

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 2 都市化	都市の周辺部において、人口の増加や経済活動の拡大に伴い、農地や森林が住宅地や文教地区、商業地などへとつくり替えられる現象を都市化と呼びます。松濤の事例は、かつての広大な農場が都心部の発展に合わせて高級住宅地や美術館などが並ぶ地域へと変容した、土地利用の変化の典型的な具体例として知られています。
問2	答え 3 群馬県 – 前橋市	関東地方では、群馬県（前橋市）、栃木県（宇都宮市）、茨城県（水戸市）、神奈川県（横浜市）、埼玉県（さいたま市）が、県名と県庁所在地名の異なる自治体です。栃木県の県庁所在地は栃木市ではなく宇都宮市であり、茨城県は水戸市です。千葉県は県名と都市名が一致しています。
問3	答え 3 昼間人口	都市の中心部では、オフィスや学校が集中しているため、周辺の住宅地から多くの人々が移動してきます。この通勤・通学による流入人口を、もともとその場所に住んでいる居住人口（夜間人口）に加え、そこから他へ出かける人を差し引いたものを昼間人口と呼びます。都心部では昼間人口が夜間人口を大きく上回るのが一般的です。
問4	答え 3 工場の跡地などを活用した大規模な再開発	東京都心部では、以前は工場や倉庫として利用されていた土地が、再開発によって大規模な集合住宅（タワーマンションなど）へと生まれ変わりました。これにより、職場に近い環境を求める子育て世代などの人口流入が加速し、特定の年齢層の割合が高まる結果となりました。
問5	答え 4 輸送用機械	群馬県などの内陸部では、北関東工業地域を中心に自動車工業が発展しており、輸送用機械の割合が高くなっています。一方、石油・石炭製品は臨海部の千葉県で高く、印刷は情報が集積する東京都で高くなっています。
問6	答え 1 近郊農業	大都市の周辺という立地条件を最大限に活用した農業形態です。消費者に近い場所で生産することで、収穫から店頭までまでの時間を短縮できるため、鮮度が品質に直結する生鮮野菜や卵などの生産が盛んに行われています。
問7	答え 4 群馬県	関東地方の白地図において、東京都から北へ向かうと埼玉県に到達します。そこからさらに北西、つまり日本海側や信越地方へ向かう方向に位置するのが群馬県です。このルートは北陸新幹線の経路とも一致しており、埼玉県と長野県の間に挟まれるような地理的關係にあります。
問8	答え 3 利根川の支流である小野川沿いに、江戸時代の風情を残す歴史的建造物や伊能忠敬旧宅などの史跡が保存されている。	香取市佐原は、利根川水運の中継地として栄えた歴史を持ち、現在も小野川沿いには当時の面影を残す蔵造りの商家などの歴史的建造物が立ち並んでいます。この地区は国の「重要伝統的建造物群保存地区」にも選定されており、日本地図を作成したことで知られる伊能忠敬の旧宅もこの川沿いに位置しています。地形図上でも、駅北側の水田地帯とは対照的に、川沿いに建物や史跡の記号が密集している様子が読み取れます。
問9	答え 3 原料となる原油や鉄鉱石の多くを海外からの輸入に頼っており、大型船舶による搬入や製品の出荷に便利のため	石油化学工業や製鉄業は、海外から大量の原油や鉄鉱石を輸入する必要があります。大型船舶が直接接岸できる水深の深い港湾付近に工場を置くことで、輸送コストを大幅に抑えることができます。このような立地を「臨海型」と呼び、京葉工業地域の発展を支える大きな要因となりました。一方、電子部品や自動車などは輸送効率を重視し、インターチェンジ付近の内陸部に立地する傾向があります。
問10	答え 1 その県が海に面していない内陸県であり、海水面漁業が行われないから。	栃木県のような内陸県は、領土が海に接していないため、物理的に海洋漁業（海水面漁業）を行うことができません。入試の統計問題では、漁獲量の項目が「0」または「－」と記載されていることが、その県が内陸県（栃木県、群馬県、埼玉県など）であることを判断する重要な手がかりとなります。北関東という位置関係とあわせて理解しておくことが重要です。
問11	答え 2 小型・軽量で重量あたりの価格が高い、半導体等製造装置などの高付加価値製品。	航空輸送は船舶輸送に比べて運賃が高いため、成田国際空港のような空の港では、重量が軽く、かつ価格が高い「高付加価値製品」が多く扱われます。具体的には、半導体等製造装置や電子部品、医薬品などが挙げられます。一方で、自動車や鉄鋼は重量があるため、主に名古屋港などの海の港から船舶で輸出されます。
問12	答え 3 日本で最も流域面積が広く、その面積は約16,840平方キロメートルに達し、関東平野を流れている。	利根川は「坂東太郎」の異名を持ち、流域面積が日本で最も広い河川です。その流域は群馬・栃木・茨城・埼玉・千葉・長野の6都県という広大な範囲にまたがっており、首都圏の生活や産業を支える重要な水資源となっています。日本で最も長い河川は信濃川、2番目に流域面積が広い河川は石狩川です。
問13	答え 4 交通網の整備によって、地価の安い内陸部に自動車などの工場が進出し、山地では高冷地の気候を利用した野菜の栽培が行われている	北関東工業地域は、高速道路のインターチェンジ付近に工業団地が形成されているのが特徴で、特に自動車工業などの機械工業が盛んです。農業においても、交通網の整備は重要であり、婦恋村などに代表される標高の高い「高冷地」で夏に生産される高原野菜を、トラック輸送で首都圏へ迅速に出荷する体制が整えられています。港湾施設の拡大は、京浜工業地帯や鹿島臨海工業地帯などの沿岸部の特徴であるため、内陸部を中心とした設問の文脈には適しません。